

夏の遊び・感触遊び

水遊び

テラスに水遊びの用意をすると、興味を持った子ども達は「はやくあそびたい!」と待ちきれないようでした。
タライに手を入れてピチャピチャと感触を確かめていました。
マヨネーズの容器を入れると両手で押し出したり、自分で水を入れようとしていたりしていました。



小麦粉



高野豆腐を手にとると「かちやいな（硬いな）」におうと「とうふ」と言っていました。水に浸すとやわらかくなり細かくちぎっていました。

袋から出てくる白い粉を不思議そうに見ていました。「触ってみる?」と声をかけると手を後ろにやる姿もありましたが、一緒に触ったり、友達が触っている様子を見たりするうちに、自分から触ろうとしていました。水を入れると固まっていくのを見て「わぁ!」と言って人差し指でつついたりすることから始まり、手のひらで握っている子もいました。後日、片栗粉でも遊びました。

高野豆腐





寒天遊び

赤の色をつけた寒天で遊びました。寒天が入ったボールを手に入れると「わ～ちゅめたい」「ぶちゅぶちゅ」と言いながら触り、形が崩れてくると「あーあ」と言いながら更に力を入れて触っていました。



手ざわり、肌ざわりを通して楽しめそうなものを使い、感触遊びを楽しみました。
見て、触って形が変化していく中で感じたことを言葉で伝えたり、表情に表したりしていました。

麩

小皿に麩を出すと匂いをかいで力を入れてつぶしたりじつくりとながめたりしていました。「これ給食のお汁の中にはいっているものだよ」と言うと不思議そうな表情をしていました。

パン粉



初めてパン粉を見た時、手のひらについたひとつぶを手に取り「何かな？」と確かめてから、遊び始めました。水を入れて混ぜると粘土状になり、握りしめたり丸めようとしていました。